

社員も会社も成長する ダイバーシティ雇用とは

障がい者の法定雇用率2.7%の時代を迎えて

2026 09/07 月

15:00 - 17:00

2026年7月より民間企業の法定雇用率が2.5%から2.7%に引き上げられました。企業では様々な障がいのある従業員の雇用を増やし、中長期的な定着率を上げるための工夫が行なわれています。

今回のセミナーでは障がい者が活躍できる雇用の好事例を共有し、定着率の向上と、様々な個性を活かす組織風土作りのヒントを探ります。

障がい者雇用の課題は、慢性疾患や難病など、また、介護・看護との両立に悩む方など、多様な人たちの働きづらさにも共通する課題です。その課題解決のためには、人事部だけでなく、企画・営業部門も含め、多様な部署間の連携が重要です。サステナビリティ・社会貢献部門は、部署間をつなぐハブの役割を担うことが重要になってきています。

ぜひ、多様な部署の皆さままでお誘い合わせの上、ご参加ください。

形式：対面形式

会場：株式会社プロロジス(東京・丸の内)

東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 東京ビルディング 22階



／ こんな方にオススメ ／

- ・企業の人事部担当者、ダイバーシティ推進者
- ・サステナビリティ推進部・社会貢献担当者
- ・障がい者の就労にご興味のある方
- ・様々な働き方のヒントを得たい方

登壇者：味の素ベーカリー株式会社 代表取締役社長 横尾 正輝（よこお まさてる）さん

多品種小ロットの製造現場における人手不足を背景に、業務の切り分けや数値化をもとにしたマッチングシステムを導入。障がいの有無にかかわらず「できる人をできる場所に」配置する柔軟な体制により、3.7%という高い実雇用率と職場への定着を実現しています。その経緯や工夫についてお話しいたします。

サントリービジネスシステム株式会社 コラボレイティブセンター 部長代理 木村 彩（きむら あや）さん

ダイバーシティ経営を掲げるサントリーグループにおいて、グループ各社のシェアードサービスや業務支援を通じ、知的障がいのある社員と各部門の業務を的確に結んでいます。本人の希望に沿ったきめ細やかなマッチングとキャリアパスの構築により、一緒に働く社員と組織が共に成長する仕組みをご紹介します。

ソフトバンク株式会社 コーポレート統括 サステナビリティ企画室 CSR推進部 社会貢献推進課 担当課長 梅原 みどり（うめはら みどり）さん

障がい児への教育支援「魔法のプロジェクト」などを通じて培った豊富な知見をベースに、週20時間未満から働く「ショートタイムワーク」を導入。長時間勤務が困難な人々の就労機会を創出するとともに、多様な就労ニーズに対応する新しい働き方のモデルをご紹介します。

